

《内閣府 男女共同参画局から》

- 平成29年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを決定しました！
- 国会議員7人が第5回「女性の活躍舞台づくり」シンポジウム（一般社団法人日本MOT振興協会主催、内閣府男女共同参画局後援）にて討議いたします（4月24日）
- 女子中高生向けイベント「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来」を開催します（5月27日）
- 政府インターネットテレビ「トップが決め手！こういう会社なら女性が輝く！」が公開されました

《お知らせ》

- 居所にお住まいのDV被害者等で、「マイナンバー」を受け取っていない方は、住民票のある市区町村にお問合せください【総務省】
- 国際女性会議WAW!(WAW!2016)報告書（和英）完成のお知らせ【外務省】
- 『地域連携による女性活躍推進の実践——持続可能な地域づくりに活かす行政と民間のつながり』刊行【文部科学省】
- 『男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査』報告書刊行【文部科学省】

《内閣府 男女共同参画局から》

●平成29年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを決定しました！

“男で○、女で○、共同作業で◎。”

内閣府では、「女性も男性も、自らの意思により個性と能力を発揮して活躍できる職場を作るためのキャッチフレーズ」を募集し、応募総数3,050点の中から、審査の結果、以下の3作品を選びました。

〔募集期間：1月12日～2月28日〕

(1)最優秀作品「男で○、女で○、共同作業で◎。」 土橋義広さん（埼玉県）

※「○」の読み方：まる／「◎」の読み方：にじゅうまる

(2)優秀作品「働きやすいと、生きやすい。」 河野稔さん（東京都）

(3)優秀作品「ダイバーシティ 絶賛推進中！」 高地利昭さん（静岡県）

最優秀作品は、男女共同参画週間のポスターの他、男女共同参画局サイトや全国各地での関連行事の広報活動等で使用します。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには政府や地方公共団体だけでなく、国民のみなさん一人ひとりの取組が必要です。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

※男女共同参画週間の実施について

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

本年度は、「男で○、女で○、共同作業で◎。」というキャッチフレーズの下、男女共同参画社会の実現に向けた各種広報啓発活動等を実施します。

この週間の中央行事として、「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」を6月21日(水)に東京国際フォーラム ホールC（東京都千代田区）において開催するほか、地方公共団体や女性団体その他の関係団体の協力の下に、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事及び広報啓発活動を行います。

※男女共同参画週間、キャッチフレーズの詳細は以下のサイトをご覧ください。

●国会議員7人が第5回「女性の活躍舞台づくり」シンポジウム（一般社団法人日本MOT振興協会主催、内閣府男女共同参画局後援）にて討議いたします（4月24日）

政治分野における女性の参画拡大は、政治に多様な民意を反映するという意味において、極めて重要です。

世界経済フォーラムが公表した2016年のジェンダー・ギャップ指数(GGI)によると、世界144カ国の中で日本は111位であり、政治分野の女性の割合の低さが我が国の順位に反映されていると指摘されています。

政治分野における女性の参画拡大について、この度、一般社団法人日本MOT振興協会（会長：白井克彦放送大学学園理事長兼早稲田大学名誉顧問（前総長））の主催する「女性の活躍舞台づくり」シンポジウムが以下の日程で開催され、加藤勝信内閣府特命担当大臣（男女共同参画）が来賓挨拶を行い、武川恵子男女共同参画局長が講演いたします。

日時：平成29年4月24日（月） 13:00～17:00

場所：東京・神田錦町 学士会館2階210号室 東京都千代田区神田錦町3-28

テーマ：「政治における女性活躍の新段階」

総合司会は國井秀子芝浦工業大学学長補佐兼大学院教授が行い、基調講演の演題と講師は(1)「政治分野の女性活躍の進展と今後の進め方」：中川正春政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟会長・衆議院議員（民進党）(2)「経団連の女性活躍推進対策」：吉田晴乃経団連女性の活躍推進委員会委員長・B T ジャパン(株)社長(3)「女性活躍推進法の施行一年～現状と課題～」：武川恵子内閣府男女共同参画局長(4)「女性活躍推進政策の今後の展望」：土屋品子自民党女性活躍推進本部長・衆議院議員（自民党）で、その後パネル討論に移り、モデレーターは尾身朝子S T Sフォーラム事務局長・衆議院議員（自民党）が担当し、総合司会と基調講演の講師に加え、宮川典子衆議院議員（自民党）、高木美智代衆議院議員（公明党）、行田邦子参議院議員（無所属）の議員連盟代表が登壇します。

参加者の対象は、全国の「女性の活躍推進」のリーダーや専門家、関係者の方たちで、約200名。入場

無料で、申込み先着順です。

※詳細は以下の案内チラシをご覧ください。

<http://www.motjp.com>

●女子中高生向けイベント「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来」を開催します（5月27日）

理系選択のその先にどんな未来があるのか、女子中高生とその保護者・教員の皆さんに「理系選択の未来」を知っていただくイベントです。当日は、アジア人女性初の宇宙飛行士の向井千秋さんをはじめ、学生、ミュージシャン、研究者や大手企業の理工系女子にご登壇いただき、多様で豊かな理工系女子の実態をご紹介します。理工系分野に興味のある方はもちろん、数学や理科が苦手な生徒さんや、保護者や進路指導を行う教員の皆さんにも是非ご来場頂きたいイベントです。一言では語りきれない理系選択後の姿を知っていただき、何となく抱くイメージや教科の好き嫌いだけに左右されない真に将来を考える進路選択を支援します。

日時：2017年5月27日（土） 14:00～16:30（開場13：30）

場所：会場：一橋講堂（千代田区一ツ橋2-1-2）

対象：女子中高生、保護者、教員

※参加無料

※セミナー詳細および参加お申し込みは以下をご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/diversity/activity/seminar/rikejyojinsei.html>

●政府インターネットテレビ「トップが決め手！こういう会社なら女性が輝く！」が公開されました

平成26年6月に9名の男性リーダーによって策定された「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言。

平成29年3月末時点で、賛同者は140名を越え、先月22日には賛同者ミーティングを開催しました。

昨日公開した動画には、賛同者ミーティングの様子、行動宣言に秘めた男性リーダーの想い、賛同者の所属企業における取組など、女性活躍へのヒントが盛りだくさんです。

ぜひ下記ページよりご覧ください！

※詳細は以下を参照してください。

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg14992.html>

《お知らせ》

●居所にお住まいのDV被害者等で、「マイナンバー」を受け取っていない方は、住民票のある市区町村にお問合せください【総務省】

平成27年10月5日以降「マイナンバー」を記載した「通知カード」を住民票の住所地に簡易書留で送付することとなっているため、DV等被害者、東日本大震災の被災者、長期入院・入所者で、やむを得ない理由により住所地で通知カードを受け取れない方は、事前に居所を登録する手続きを行っていただくことで、居所に「通知カード」を送付することができるようにしてまいりました。

しかしながら、この居所登録手続きを行っていない場合や、登録後に居所が変更となった場合などにより、通知カードを受け取っていない方は、住民票のある市区町村にお問合せください。

また、通知カードがDV等加害者のいる住民票の住所地に届いてしまった方も、マイナンバーの変更手続きが可能であるため、住民票のある市区町村にお問合せください。

※詳細は以下をご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/08.html

●国際女性会議WAW!(WAW!2016)報告書（和英）完成のお知らせ【外務省】

昨年12月13日及び14日に開催された、3回目の国際女性会議WAW!（World Assembly for Women、略称:WAW! 2016）の報告書（和・英）が完成しました。WAW!（ワウ）は、安倍政権の最重要課題の一つである「女性が輝く社会」を実現するための取組の一環として2014年より開催されており、世界及び日本で活躍するトップ・リーダーや各界の著名人が参加して女性をめぐる様々な課題について議論する国際会議です。

WAW! 2016ハイライト

- ・我が国及び26カ国・11国際機関から93名が参加。
- ・安倍内閣総理大臣からの冒頭挨拶では、本年のテーマ「WAW! for Action」のもと、「行動」を通じて「意識」を変え、あらゆる人が様々な制約を乗り越えて自分らしく活躍できるような社会を目指す旨表明し、途上国の女性のために、2018年までに総額約30億ドル以上の取組を約束しました。
- ・基調講演では、若者を中心に爆発的な人気を誇るカメラアプリ「インスタグラム」の最高執行責任者マーニー・レヴィーン氏から、テクノロジーを活用したより柔軟な労働環境の実現等について提案がありました。
- ・パネル・ディスカッションは「女性が担う平和な社会づくり」と「スポーツと女性」をテーマに実施しました。
- ・一日目には小池都知事、榊原経団連会長、ムランボ＝ヌクカUN Women事務局長からのご挨拶やアウン・サン・スーチー・ミャンマー国家最高顧問、澤穂希元サッカー女子日本代表キャプテンからのビデオメッセージが上映されました。
- ・二日目には、5つのハイレベル・ラウンドテーブルと2つのスペシャル・セッションを実施。各テーブル／セッションのテーマや議論の中身等、詳しくは以下の報告書本文をご覧ください。

※詳細は以下をご覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000242927.pdf>（和文）

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000242928.pdf>（英文）

行【文部科学省】

持続可能な社会を維持していくための重要な政策課題である女性の活躍推進の取組について、地域における様々な機関や分野の連携に着目し、現状や課題、地方公共団体や男女共同参画センター等の具体的な実践事例をまとめました。

官民のネットワークによる働く場の改革、女性の就労・再就労、起業、農業・漁業、大学生、防災など、多様なテーマについて取り上げ、最近の動向や効果的かつ効率的な展開のポイント、きめ細かな支援のプロセスや連携の工夫等を紹介しています。「組織内や他機関と連携・協働することの意義や方法を知りたい」「男女共同参画推進に向けての留意点は何か」といった疑問に対して、実践に即した具体的な答えを得ることができるものとなっています。

地域において女性活躍推進や地方創生、まちづくり等の事業を進めていく上でぜひ活用ください。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://www.nwec.jp/about/publish/index.html>

●『男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査』報告書刊行【文部科学省】

生涯を見据えた早期からのキャリア形成支援を、男女共同参画の視点に立つて行うための方策を探ることを目的に、平成27年度から実施している「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査研究」の報告書を刊行しました。

新規学卒者が直面する職場環境や人的資源投資は、その後のキャリア形成に大きく影響します。特に女性のキャリア意識を高めるためには、出産・育児による制約を受ける前の20代に、成長と経験を先取りさせる必要があると指摘されています。

そこでNWECでは、初期キャリア期の男女の「キャリア意識の変化」と「変化をもたらす要因」について検証するため、平成27年に民間企業の正規職についた男女を、5年間追跡するパネル調査を開始しました。本報告書は、平成27年10月に実施した第一回調査、平成28年10月に実施した第二回調査の結果を男女別に集計し、男女のキャリア意識を比較したものです。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://www.nwec.jp/research/carrier/2016.html>

=====

●内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。

男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

●男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、平成29年4月28日(金)に配信する予定です。

=====

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

☐ 配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

☐ バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

☐ このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>

☐ 内閣府 男女共同参画局ホームページはこちらから

<http://www.gender.go.jp/>

※URLをクリックしてページが表示されない場合はURLをコピーして、ブラウザにURLを貼り付けてアクセスしてください。

編集・発行：内閣府 男女共同参画局

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

電話番号 03-5253-2111（代表）

COPYRIGHT(C)2009 Cabinet Office, Government of Japan.

ALL RIGHTS RESERVED.

本メールの無断転載を禁止します。